



ディスクロージャー '22

経営方針

経営理念

J Aグリーン長野は、
人と人との絆の強化と
次世代につなぐ協同の輪を実現します。

経営目標

当 J A は、中期 3 カ年計画（令和 4 年度～6 年度）を確実に実践し、
組合員の負託に応えられる J A づくりをすすめます。

□ 経営目標

1. 農業所得増大へのさらなる挑戦に取り組みます。
2. 不断の自己改革による組織・経営基盤の確立に取り組みます。

《中期計画の骨子》

< 農 >

1. 担い手ニーズへの対応による J A への結集と生産基盤の強化に取り組みます。
2. 所得増大につながる販売力強化とコスト削減に取り組みます。
3. 営農・農業関連事業の効率化と成長に向けた実践に取り組みます。
4. 生産者の声を反映した農業政策・地域政策の確立に取り組みます。

< 絆 >

1. 多様化する組合員のメンバーシップ強化に取り組みます。

< J A >

1. 新たな事業方式による事業成長と運営効率化による収益性の向上に取り組みます。
2. 事業戦略を支える経営管理の変革に取り組みます。

< SDGs >

1. SDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献します。

地域貢献情報

◇全般に関する事項

当JAは、県都長野市を南北に分ける犀川南部の長野市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、お互いに助け合い・お互いに発展していく相互扶助を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまからお預りした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは、資金を必要とされる組合員のみなさまや地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、地域の一員として農業の発展と健康でゆたかな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。また、JAの事業活動を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

◇地域からの資金調達の状況

地域の皆さまからお預かりした貯金・積金の残高は、今年度8月末において2,111億円となっております。当JAでは、県下統一商品のほか特典付定期積金「おたっしや家族会」、特典付定期貯金「年金プラス定期貯金」等のオリジナル商品を開発し、みなさまからお預かりする資金について金利面や特典によってご満足いただけるよう心がけております。

◇地域への資金供給の状況

地域のみなさまへの貸出金の残高は、今年度8月末において411億円となっております。

この内訳は、組合員等への資金供給386億円、地方公共団体等8億円、その他16億円です。

地域農業者等の資金ニーズに併せ、農業施設の建設、農業器具機械の購入資金に対応する農業近代化資金などの制度融資や農業経営の安定を目的とした営農資金等、農業経営向上のため幅広い資金対応を行っております。また、生活資金においては、県下統一ローンのほか農協独自要綱による資金を用意し、地域住民のみなさまの生活の向上に貢献できるよう努力しております。

◇文化的・社会的貢献に関する事項

地域文化との係わりとして、地域行事への参画・学校給食への地元農産物の提供に係る支援、農業体験教室、各種農業関連イベントなどの開催等、農業を通じた地域との交流を積極的に行っております。

今後も引き続き、地域の皆さまに貢献できるよう広報誌などを通じた情報提供に心掛け、さらには支所の充実をはかることにより、より一層の地域貢献ができるよう努力いたします。

◇地域密着型金融の取り組み

(中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況を含む)

(1) 農業者等の経営支援に関する取組方針

農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当組合の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当組合の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向けた方針を定め、取り組んでいます。

(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

お客さまからの上述のような申込みに対し、円滑に措置をとることができるよう、必要な体制を整備しております。

財務状況と事業

◇農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況（単体）

単位：百万円

債権区分	令和4年8月末	令和4年2月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	81	41	40
危険債権	97	104	▲ 7
要管理債権	0	0	0
三か月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
正常債権	40,907	37,923	2,984
合計	41,086	38,070	3,016

(注) 令和4年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- ① 各債権区分額は、令和4年2月末時点の債権額を基準として、令和4年8月末時点の残高に修正しています。
- ② 令和4年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき、債権区分を変更しています。

◇単体自己資本比率（国内基準適用）

令和4年8月末	令和4年2月末
16.02%	15.95%

(注) 令和4年8月末の単体自己資本比率は、新BIS規制の基準に基づき算出しています。
 なお、8月末の単体自己資本比率の算出にあたって、令和4年2月末のオペレーショナル・リスク相当額を使用しております。

◇主要勘定の状況

単位：百万円

勘定	令和4年8月末	令和4年2月末	令和3年8月末
貯金	211,179	209,568	208,454
貸出金	41,064	38,054	36,790
預け金	158,055	161,294	161,102
有価証券	7,750	7,294	5,930

◇有価証券時価情報

単位：百万円

種類	令和4年8月末			令和4年2月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	0	0	0	0	0	0
満期保有目的	0	0	0	0	0	0
その他	8,186	7,750	▲ 436	7,495	7,294	▲ 200
合計	8,186	7,750	▲ 436	7,495	7,294	▲ 200

(注) 令和4年8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
 取得価格は、償却原価法適用前、減損処理前のものです。

人と人との絆
次世代につなぐ
協同の輪